

とやま地産地消顕彰

資料 No. 1

地産地消の優良な取組みを表彰し、県民が積極的に地産地消に取り組む気運の高揚を図る。

1. とやま地産地消優良活動賞

地域と連携・協力して地産地消活動に取り組む団体や個人の推薦を関係団体等へ依頼したところ、4団体の推薦があり、選考委員会で優秀な団体を選定した。

区分	受賞団体	所在地	主な活動内容	特徴
優良	愛菜畑	入善町 小摺戸	<ul style="list-style-type: none"> 市内量販店のインショップ農産物直売コーナーに出荷 野菜、花、球根、加工品など多種の農産物や漬け物等の農産加工品を生産、販売 店内に「愛菜畑通信」を掲示し、産地の様々な情報や調理メニュー等を発信 収穫感謝祭で大試食会(鍋)を実施したり、保育園児にさつま芋掘り体験をしてもらうなど、消費者交流も行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 量販店等における地域の農林水産物の利用促進 地産地消を活かした産地づくりや遊休農地・施設の解消 地域振興に資する地産地消の活動の核となる人材の育成
	いきいき直売の会	氷見市 朝日丘	<ul style="list-style-type: none"> 少量の生産物でも販売可能な場所と機会の提供により、地域農業の振興と生産者所得の向上を図る 生産者の顔が見える販売方法や観光農園の開設等による、生産者と消費者の交流の促進 5つの部会を設置し、栽培研修会や視察研修等の実施による新規作物の導入と栽培・加工技術の向上に努める 氷見市環境にやさしい農産物認証の推進による安全・安心な農産物の生産・販売 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の直売所等における地域の農林水産物の利用促進 量販店等における地域の農林水産物の利用促進 地産地消を活かした産地づくり 地産地消と環境保全、地域循環システムを結び付けた取組

2. とやま地産地消メニューコンテスト

市町村、関係団体、「とやまの旬」応援団等へ案内したところ、10企業・団体から110件の応募があり、選考委員会で優秀作品を選定した。

区分	受賞団体	所在地	部門	特徴
最優秀	滑川市学校給食共同調理場	滑川市 柳原	学校給食・社員食堂	<ul style="list-style-type: none"> 旬のたまねぎをメインにした、「豚肉の新たまねぎソース」、「オニオンサラダ」、「たまねぎのみそ汁」などたまねぎが丸ごと味わえる献立。 デザート「塩キャラメルプリン」には、全く火を使わずに天日干しの塩を作ることができる製塩施設で海洋深層水から作った塩を使用。
	立山町学校給食センター	立山町 向新庄	学校給食・社員食堂	<ul style="list-style-type: none"> 児童から募集した地場産食材学校給食メニューを採用。 「里いもごはん」には、立山町産の新米こしひかり、里いも、にんじん、油揚げを使用。 「立山ポークステーキのりんごソースかけ」には、立山町産の立山ポーク、米粉、りんご、しょうが、にんにくを使用。 「いろとり」は、立山町の郷土料理。立山町産のかぶ、にんじんを使用。 「とうふ汁」は、立山町のとうふ、えのきたけ、ねぎ、にんじんを使用。 立山町産の「ラ・フランス」は収穫後、熟成させてから出荷。

にゅうぜん味菜	入善町入善	外食・弁当	<ul style="list-style-type: none"> ・にゅうぜん味菜カレーは、「ヨーグルト」の隠し味でやさしい味に。「昔のライスカレー」を思い出し、懐かしむ人が多い。 ・副菜のバイキングは、メンバーが栽培した野菜をフル活用し、自慢の料理を約15種類提供。「煮物・和え物、酢の物・サラダ・漬け物」など、栄養バランスを考え、多くの食材を利用。
愛彩グループ	高岡市佐野	外食・弁当	<ul style="list-style-type: none"> ・高岡に伝わる地元伝承料理をふんだんに盛り込む。 ・ヘルシーで彩りもよく薄味、栄養バランスを考慮することを基本理念としている。(県の「ヘルスアップお総菜プロジェクト」に認定されている。) ・高岡で生産されている旬の野菜を使用。 ・出汁は花かつおと昆布でとり、インスタント出汁は一切使用していない。味噌、塩麹などの調味料もグループで加工している。



平成30年度 とやま地産地消優良活動



県では、地産地消の取り組みを一層推進するため、地域と連携・協力して地産地消活動に取り組み、優秀活動と認められた企業・団体を「優良活動賞」として表彰しています。

愛菜畑 【入善町】

◎代表 手塚 喜志子
◎活動参加者 14名

- ・市内量販店のインショップ農産物直売コーナーに出荷
- ・野菜、花、球根、加工品など多種の農産物や漬け物等の農産加工品を生産、販売
- ・店内に「愛菜畑通信」を掲示し、産地の様々な情報や調理メニュー等を発信
- ・収穫感謝祭で大試食会(鍋)を実施したり、保育園児にさつま芋掘り体験をしてもらうなど、消費者交流も行っている



▲野菜の好き嫌いアンケートの実施



▲収穫祭で野菜たっぷり鍋を堪能



▲さつま芋掘り体験

いきいき直売の会 【氷見市】

◎代表 中田 専秀
◎活動参加者 548名

- ・少量の生産物でも販売可能な場所と機会の提供により、地域農業の振興と生産者所得の向上を図る
- ・生産者の顔が見える販売方法や観光農園の開設等による、生産者と消費者の交流の促進
- ・5つの部会を設置し、栽培研修会や視察研修等の実施による新規作物の導入と栽培・加工技術の向上に努める
- ・氷見市環境にやさしい農産物認証の推進による安全・安心な農産物の生産・販売



▲西洋野菜など希少な野菜を使った料理教室



▲飲食店関係者を招いた視察会



▲要望野菜の販売開始



平成30年度 とやま地産地消 メニューコンテスト(優秀作品)

県では、地産地消の取り組みを一層推進するため、県産品を積極的に活用した給食等のメニューを募集したところ、10企業・団体から10件の応募がありましたので、優秀な作品を紹介します。



最優秀賞

【滑川市学校給食共同調理場】

学校給食・社員食堂

【まるごとたまねぎ給食】

豚肉の新たなまねぎソース、オニオンサラダ、みそ汁、塩キャラメルプリン

・旬のたまねぎをメインにした、「豚肉の新たなまねぎソース」、「オニオンサラダ」、「たまねぎのみそ汁」などたまねぎが丸ごと味わえる献立。

・デザート「塩キャラメルプリン」には、全く火を使わずに天日干しの塩を作ることができる製塩施設で海洋深層水から作った塩を使用。



優秀賞

【立山町学校給食センター】

学校給食・社員食堂

【心も体も栄養満点 ふるさと立山たっぷり給食】

里いもごはん、立山ポークステーキのりんごソースかけ、いりとり、とうふ汁、ラ・フランス

・児童から募集した地場産食材学校給食メニューを採用。

・旬の地場産食材を使用

里いもごはん

：新米こしひかり、里いも、にんじん、油揚げ
立山ポークステーキのりんごソースかけ

：立山ポーク、米粉、りんご、しょうが、にんにく
いりとり(郷土料理)：かぶ、にんじん

とうふ汁：とうふ、えのきたけ、ねぎ、にんじん

ラ・フランス：収穫後、熟成させてから出荷



優秀賞

【にゅうぜん味菜】(入善町)

外食・弁当

【にゅうぜん味菜カレーランチ】

ごはん、にゅうぜんカレー、煮しめ、小松菜のごま和え、ほうれん草の煮浸し、紅白なます、金時豆、三色ピーマンのカラフル和風サラダ、オニオンサラダ、よしなの醤油漬け、紅大根のあっさり漬、きゅうりのピクルス、福神漬け

・にゅうぜん味菜カレーは、「ヨーグルト」の隠し味でやさしい味に。「昔のライスカレー」を思い出し、懐かしむ人が多い。

・副菜のバイキングは、メンバーが栽培した野菜をフル活用し、自慢の料理を約15種類提供。「煮物・和え物、酢の物・サラダ・漬け物」など、栄養バランスを考え、多くの食材を利用。



優秀賞

【愛彩グループ】(高岡市)

外食・弁当

【愛彩まごころ弁当】

古代米入りおこわ、昆布おにぎり、ご飯、焼き魚、昆布巻、里芋のたこ焼き風、卵焼き、えべす、まごもだけの粕漬、やちら、煮しめ、煮豆、胡麻和え、ポテトサラダ、よしなの炒めもの、りんごのコンポート、いちご

・高岡に伝わる地元伝承料理をふんだんに盛り込む。

・ヘルシーで彩りもよく薄味、栄養バランスを考慮することを基本理念としている。(県の「ヘルスアップお総菜プロジェクト」に認定されている。)

・高岡で生産されている旬の野菜を使用。

・出汁は花かつおと昆布でとり、インスタント出汁は一切使用していない。味噌、塩麹などの調味料もグループで加工している。



平成29年度事業の実績及び平成30年度の取組み

資料 No. 2

○新・とやま地産地消推進戦略目標指標の推進状況

新・とやま地産地消推進戦略(H27.3策定)

基本施策

I 生産・供給体制の強化

推進施策	目標指標	策定時 (H25)	現状値 (年度)	目標値 H33	H30年度の主な取組み	担当課・班(係)
1 農林水産物の生産拡大	園芸産出額(いも類含む) (億円)	87	97 (H28)	120 ※	・経営の複合化の推進による園芸生産拡大 ・次世代施設園芸拠点の取組支援と取組成果の波及に向けた指導者研修会等の実施 ・チューリップ植込・収穫ロボットを核としたネット栽培体系の確立支援	農産食品課・園芸振興係
	1億円産地づくり戦略品目の総販売金額 【資料No.3】(億円)	6	11.3 (H29)	24 ※	・戦略品目の単収向上に向けた技術確立 ・JA指導員の園芸指導力向上と機械・施設の整備支援 ・加工用キャベツ等の導入による水田フル活用の推進 ・たまねぎ等の優良事例の横展開	農産食品課・園芸振興係
2 より安全な県産品の生産体制の確立	エコファーマー延べ認定者数 (人)	3,279	3,957 (H29)	4,000	・消費者に対するエコファーマー産地の見学会の実施 ・HPを活用したエコファーマー制度のPR	農業技術課・エコ農業推進係
3 直売や契約的な生産販売の拡大	直売所・インショップの販売額 【資料No.4】(百万円)	2,873	3,656 (H29)	4,500 ※	・HPでの直売所・インショップの紹介	農林水産企画課・企画班
4 耕作放棄地の発生防止・利活用	中山間地域等直接支払 協定締結集落数 (集落)	395	377 (H29)	400 ※	・平成27年度より第4期対策が始まり、第3期に引き続き、集落協定の継続及び新規の締結に向けた取組を推進	農村振興課・中山間地域振興班

II 県産品の活用・購買気運の醸成

推進施策	目標指標	策定時 (H25)	現状値 (年度)	目標値 H33	H30年度の主な取組み	担当課・班(係)
5 6次産業化や農商工連携による魅力ある商品・サービスの提供	6次産業化による年間販売金額(加工・直売分野) 【資料No.5】(億円)	91 (H24)	104 (H28)	160 ※	・6次産業化サポートセンターによる専門家の派遣 ・6次産業化セミナーによる人材育成研修 ・商品開発・製造、販売拡大に必要な機材・施設整備を支援	農村振興課・農村活性化係
	農村女性起業数 (農村女性が主体の直売・加工等の個人・グループ数) 【資料No.5】(件)	164	183 (H29)	200	・農村女性を対象に、商品開発力を習得するための実践講座(スキルアップ講座)の開催やフォローアップの実施 ・新たな農産加工商品の開発から事業拡大、企業的な取組までを発展段階に応じて支援	農村振興課・農村活性化係
	農商工連携認定数(食に関する延べ件数) (件)	52	82 (H29)	80	・農商工連携ファンドによる助成事業の募集 ・助成率2/3、助成上限額800万円	経営支援課・地域産業係
6 食品産業の振興	ふるさと認証食品の商品数 (商品)	322	327 (H29)	350	・「ふるさと認証食品」新規認証食品の認証、制度PR ・「富のおもちかえり」商品について、商品拡充や県内外でのPR事業の実施	農林水産企画課市場戦略推進班
7 来県者による県産品の消費拡大	県産食材提供協力店舗数(県内) 【資料No.6・7】(店)	1,356	1,580	1,850	・新たに「美味しい富山米の店」を登録 ・県産肉を紹介するリーフレット「富山肉物語」配布 ・「うまさ一番 富山のさかなキャンペーン」PR資料の提供(のぼり、タペストリー、パンフレットなど)	農林水産企画課市場戦略推進班 農業技術課・畜産振興班 水産漁港課・経営係

III 生産者と消費者との活動促進

推進施策	目標指標	策定時 (H25)	現状値 (年度)	目標値 H33	H30年度の主な取組み	担当課・班(係)
8 県民運動としての気運高揚	県産品を意識して購入する人の割合 【資料No.10】(%)	60.1 (H26)	-	80	・県産品購入ポイント制度の実施(H30:9月8日(土)～11月11日(日))【65日間】実施中 (参考 H29:9月9日(土)～11月12日(日))【65日間】、応募数:20,815)	農林水産企画課・企画班
	地産地消「とやまの旬」応援団登録数 【資料No.11】(企業・団体) (個人)	1,119	1,241 (H29)	1,500	・応援団提案活動を支援(10件) ・地産地消PR資料の提供	農林水産企画課・企画班
9 学校給食などでの県産食材利用拡大	学校給食における県産食材の利用量 【資料No.4】(t)	564	498 (H29)	700	・各市町村における①学校給食への県産食材の活用に向けた推進体制の整備②県産食材を使用した県産給食の実施に対して支援 ・県産食材の全県的な活用のため、関係機関等による県産食材活用検討会の開催 ・学校給食での県産魚使用を支援	農林水産企画課・企画班 水産漁港課・経営係
	農林漁業等体験者数(延べ人数) (人)	49,400	67,003 (H29)	64,500 ※	・都市部の若者等を対象にした「とやま農山漁村インターンシップ」の実施(2地域、参加者13名) ・潜在型田舎暮らし体験講座「とやま帰農塾」の開催(8市町10講座、参加者56名 ※H30.9月末時点) ・地域の魅力ある素材や資源を活用した都市住民との交流人口の拡大を図る「とやまの田舎」交流支援事業への支援(4地域)	農村振興課・都市農村交流係
11 食文化の継承・発展	「とやま食の匠」認定数 (団体・個人)	165	164 (H29)	180	・とやま食の匠の認定 9個人・団体を認定(交代含む)	農林水産企画課・市場戦略推進班
	「とやま食の匠」派遣件数(年間延べ) (件)	55	35 (H29)	60	・とやま食の匠派遣、制度PR	農林水産企画課・市場戦略推進班
12 情報発信の強化	越中とやま食の王国ホームページへのアクセス件数(月平均) (件/月)	20,000	25,732 (H29)	41,000	・特集記事掲載(年4回)、県産品プレゼントの実施(年12回)	農林水産企画課・市場戦略推進班

※上位計画(総合計画及び農業農村振興計画)の見直しに伴い、目標値を変更



園芸の「1億円産地づくり」の取組状況

県では、食の安全・安心に対する県民の関心の高まりから、顔の見える県産野菜等の生産拡大に対する期待に応えるため、平成22年度から「1億円産地づくり支援事業」を展開している（戦略策定JA：15JA、戦略品目：たまねぎ、にんじん、ばれいしょ等のべ23品目）。

平成29年度には、JAとなみ野の「たまねぎ」の販売額が約3.5億円、JAいなばのハトムギが約1.7億円、JA黒部のねぎが約7,800万円となるなど、戦略品目全体で11.3億円に拡大している。

○取組みの成果 ※戦略品目の生産販売実績及び見込み ()は対前年増減

H29 作付面積 (ha)	H29 出荷量 (t)	H29 販売金額 (百万円)
610 (+108)	9,110 (+1,268)	1,126 (▲101)

1 これまでの主な取組み

(1) 加速化計画の実施及び検討会等の開催支援

1億円産地づくりの取り組みを加速化させるため、品目の見直しも含めた新5カ年計画を策定し、取組みを強化。また、産地づくりを着実に進めるため、研修会や検討会の開催を支援

(2) モデル経営体の育成

各産地においてモデル経営体を設け、機械化体系や単収向上技術を実証

(3) 機械・施設の整備

産地の拡大に伴う集出荷貯蔵施設の導入・増強（たまねぎ）や、省力機械化にむけた収穫機や調製用機械等（キャベツ、さといも等）の導入を支援

(4) 広域産地化の推進

全農が主導する加工キャベツやにんじんの広域的な産地体制を強化するため、協議会の設立や実証ほの設置、機械化一貫体系の導入を支援。

優良事例であるJAとなみ野のたまねぎを県内に普及するための研修会等を実施。



産地規模拡大に伴う乾燥施設の増設
(JAとなみ野たまねぎ、H30.4.26竣工)



たまねぎの大規模栽培推進栽培研修会
(収穫研修会 H30.6.7)

(5) 県産野菜の認知度向上と新たな販路開拓

1億円産地づくり品目について、東京圏市場や量販店の要望に対応できる販促資材の作成やマーケティング調査など、新たな販路開拓を支援

【ねぎたん】】

- ・鮮度保持効果とデザイン性の高いFG包装や、実需者（生協）のニーズに基づいた特別サイズ（通常40cm→宅配用ボックスに収まる30cm）の導入
- ・店頭電子POPの作成等、知名度の向上に向けたPRの強化

【えだまめ】

- ・H27に開発した出荷箱による認知度向上と販売拡大
- ・保冷効果の高い出荷容器や保冷剤の検討・導入

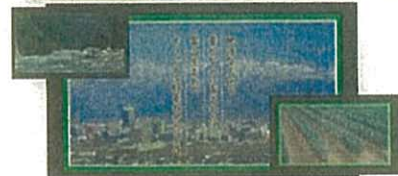
2 今後の主な取組み

H30. 11. 13 「園芸生産拡大大会」の開催

H31. 2月 園芸振興推進協議会の開催：次年度計画の検討



ねぎたん
(左からFG袋詰め、宅配用、通常)



ねぎたんのPR映像



黒を基調とした黒大豆えだまめの出荷箱

○野菜等生産に関するその他の特徴的な動き

(1) 次世代型施設園芸による大規模な野菜・花き生産

「富山スマートアグリ次世代施設園芸拠点」では、地域資源エネルギー（廃棄物の焼却熱）とICTによる高度な環境制御技術を活用して、フルーツトマトやトルコギキョウ等の切花の大規模な周年生産に取り組んでいます。

<栽培面積と出荷実績（H28）>

	栽培面積	出荷実績
フルーツトマト	2.9ha	184t
トルコギキョウ等切花	1.2ha	40万本



(2) とやまのカン（寒）カン（甘）野菜

- ・県産冬野菜の生産振興や販路拡大を図るため、「とやまのカン（寒）・カン（甘）野菜プロジェクト」を実施しています。
- ・冬季の気象条件を活かし、寒さでよりおいしくなる寒締めほうれんそう、キャベツ、ニンジン、ハウス白ねぎなどが対象です。





県産品の活用状況

県では「新・とやま地産地消推進戦略」に基づき、県民ぐるみの地産地消運動を展開しており、その状況を把握するため、地場産品の活用状況の調査をしています。

目標 (H33)
3,200 百万円

1 直売・インショップの販売実績

(平成 29 年度)

3,656 百万円 (前年度比 104%)

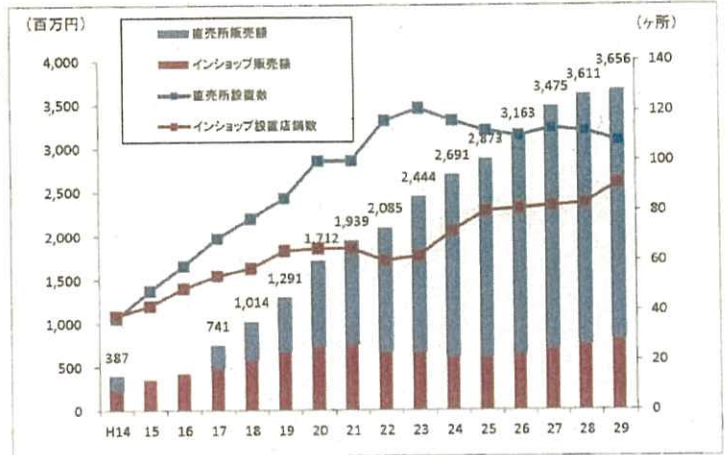
J A 等の大規模直売所を中心に増加

直売所：設置数・販売額ともに減少
(112→108 箇所)
(2,852 百万円→2,837 百万円)

インショップ：設置数・販売額ともに増加
(83→91 箇所)
(759 百万円→819 百万円)

[農林水産企画課調べ]

＜直売・インショップの推移＞



2 学校給食の県産食材使用状況

(平成 29 年度)

[米飯給食] 週 3.7 回

[前年 3.7 回、入善町では週 5 回]

[野菜類] 活用量は 498 トン

品目数は 115 品目

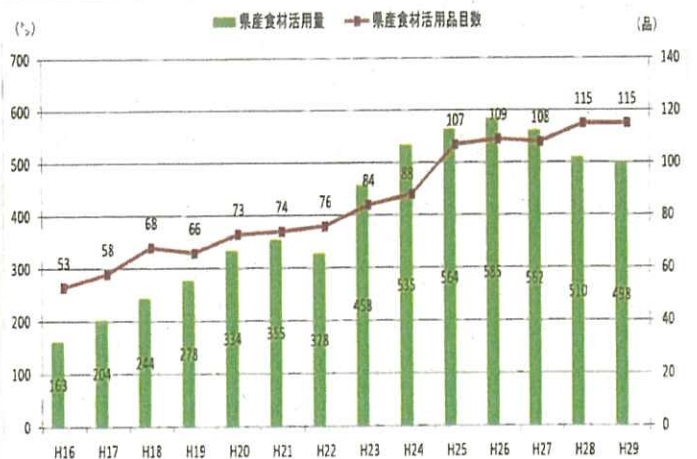
学校給食での主な使用食材

※ () 内は、県産食材使用割合及び使用量

- ・たまねぎ: 384.0 トン (13.1%、50.2 トン)
- ・じゃがいも: 314.2 トン (7.5%、23.6 トン)
- ・キャベツ: 249.3 トン (30.8%、76.8 トン)
- ・にんじん: 195.5 トン (18.9%、36.9 トン)
- ・だいこん: 141.2 トン (38.5%、54.4 トン)

[農林水産企画課調べ]

＜学校給食における県産野菜等の活用＞





6次産業化の取組状況

県では、農林漁業者の6次産業化の取組みを促進するため、国の支援制度に加え、規模や発展段階に応じた取組みが図られるよう、県独自制度による支援を行っています。

1 国の支援制度の活用について

(1) 六次産業化法による「総合化事業計画」の策定支援

<メリット>・制度資金の特例適用(据置期間延長)、
国補助事業の活用等

認定件数(H30.9 現在)
富山県 32 件(うち H29:2 件)
(全国:2,370 件)
新潟県 38 件、石川県 26 件、
福井県 21 件

(2) 6次産業化プランナーの派遣(サポート活動)

・商品開発やマーケティングの専門家等による相談活動

【支援状況(H29)】
・派遣回数:52回
・相談経営体数:22件

(3) とやま6次産業化セミナーの開催

・マーケティング等の専門家による座学・実習等の研修を実施

(4) 食料産業・6次産業化交付金

・新商品開発、販売拡大等のソフト活動や
加工施設・レストラン等のハード整備を支援

【整備事業の支援状況】
H23~H29:計15件

2 県の主な支援事業について

(1) 6次産業化とやまの魅力発信事業(H24~)

○支援対象:農林漁業者(個人[認定農業者]又は団体等)

○支援内容及び補助率

①一般事業:商品開発、販路開拓、機械整備等(補助率1/2、250万円以内)

②農福連携事業:障害者を雇用して行う①の事業(補助率1/2、300万円以内)

③農観連携事業:観光業者と連携した新商品の開発や体験農園の整備等

(補助率1/3(市町村1/6)、2年間で県200万円以内)



【支援状況】H30:6件採択
(H24~29:計44件)

<事業を活用して誕生した新商品(例)>



干し柿アイス
(南砺市、H24)



へちま茶
(射水市、H26)
【医福食農連携】



ひとくち蜂蜜
(富山市、H27)



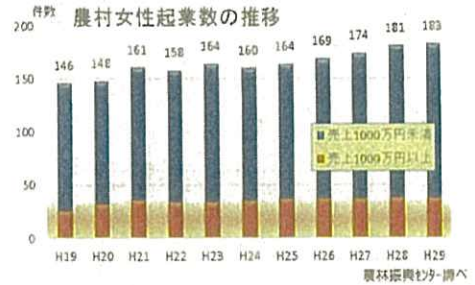
生姜ジュース
(砺波市、H28)
【農観連携】

(3) 農村女性起業に対する支援

農村女性の農産加工品開発や販売などの活動を発展段階別に支援

<農村女性起業の状況>

	H19	H29	H29/H19
農村女性起業数	146件	183件	125%
うち販売額1,000万円以上	26件	38件	146%
販売額	10.3億円	16.4億円	159%



① 農村女性スキルアップ講座

- ・受講対象者：女性起業組織のリーダーや起業活動を志す女性農業者等
- ・共通講座：マーケティング、起業理念
- ・専門コース：①保存技術、②メニュー開発、③商品化

【受講数】 H30: 19名 (H21~29: 計199名受講)

② 農村女性起業チャレンジ事業

地場農産物を活用した、商品開発を支援

- ・補助率：1/2 (標準事業費80万円)

【支援状況】

H30: 5件採択 (H18~29: 71件)

③ 農村女性起業拡大支援事業

事業拡大のための加工機器の導入等を支援

- ・補助率：1/2 (標準事業費200万円)

【支援状況】

H30: 3件採択 (H19~H29: 43件)

④ 農村女性先進モデル企業育成事業

「起業」から「企業」への発展を目指した商品構成の充実や販売促進活動を支援

- ・補助率：1/2 (標準事業費1年目200万円、2年目50万円)

【支援状況】 H30: 新規1件、継続1件採択 (H20~29: 11)

⑤ 農村女性起業ネットワーク促進事業

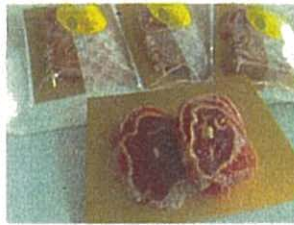
事業を活用した農村女性起業者をフォローアップし、ネットワークを促進するため、活動現場を会場にした事業実施報告会や交流会を開催

【実施状況】 H30: 2箇所で開催予定

<活動の様子/事業を活用して誕生した新商品や新たな取組み(例)>



農村女性スキルアップ講座の様子



富山干柿を使ったお菓子
(南砺市、H29)
【起業チャレンジ】



交流スペースを備えた直売所
(黒部市、H28)
【起業拡大支援】



味噌
(氷見市、H26~27)
【先進モデル企業育成】



「美味しい富山米の店」

1 事業の趣旨

県民や来県者に「富山米」を実際に味わっていただくことで、その美味しさをより効果的にPRし、富山米の評価を高め消費拡大につなげるため、平成28年度から「美味しい富山米」魅力発信事業として、「美味しい富山米の店」の登録・PRに取り組んでいます。

2 事業の概要

(1) 内容について

- ・申請に基づき、以下の条件を満たす飲食店等を「美味しい富山米の店」として登録
【「美味しい富山米の店」登録の条件（以下の要件を全て満たすこと）】

- ①富山米を100%使用していること
- ②使用する精米の整粒割合が85%以上であるかを確認すること
- ③美味しい富山米を提供するための遵守項目について点検・確認を行うこと

- ・県米消費拡大推進協議会（県や県農協中央会）のHP等で登録店舗の紹介PRを実施
- ・越中とやま食の王国フェスタ2018～秋の陣～等のイベントにて、取組み内容や登録店舗を紹介
- ・協議会事務局において、抽出巡回調査を行い、登録店舗にて、PRサイン掲示状況や確認項目が実践されているか確認
- ・希望する登録店舗には、「県産品購入ポイント制度」に参加していただき、「県産品購入ポイント制度」との相互PRを実施



3 登録募集について

(1) 募集期間

- ・1次募集：平成30年7月18日～9月14日
- ・2次募集：11月中旬～12月下旬を期間とし募集を予定

(2) 登録店舗数（平成29年度末：101店舗）

- ・1次募集：新規2店舗から登録申請
（食堂レストラン2）
店舗：（株）サンキュー真生会グリーンハット店、富山育ちふなはし亭



富山県産「紅ズワイガニ」のブランド化について

1 趣旨

春、夏、冬の本県水産物を代表するホタルイカ、シロエビ、ブリに加え、秋を代表する水産物として、県産「紅ズワイガニ」をブランド化し、付加価値向上や観光資源としての一層の活用と、「富山のさかな」のブランド力の強化を図る。

<県産紅ズワイガニの特徴>

- ・漁場が近く、水揚げまでの時間が短いため鮮度が良い。
- ・県産紅ズワイガニはズワイガニよりも早く漁期が始まり、旬を先取り。
- ・県産紅ズワイガニは、品質に比べ価格がリーズナブルで付加価値向上の可能性が大きい。

2 ブランド化に向けた取組み

(1) 県産紅ズワイガニ全体のキャッチフレーズの策定とネーミング

- ・キャッチフレーズ：**富山湾の朝陽**^{あさひ}

※朝獲れの紅ズワイガニを満載した漁船が港に近づいてくる。紅い体は、富山湾から昇る太陽、スッと伸びた脚は、陽光にも重なる。価値も認知度も「どんどん上昇して欲しい」という思いを込めたキャッチフレーズ

- ・ネーミング：**高志の紅ガニ**^{アカ}

※県内漁業者の間で使われている紅ズワイガニの呼称「アカガニ」に、県の地名ゆかりの「高志」と良い物の提供をめざす漁業者の「高い志」を重ねたネーミング

(2) ブランド規格を満たす紅ズワイガニに、タグを付けトップブランドとして出荷

- ・名称：**極上 高志の紅ガニ**^{アカ}

【タグ表面】

【タグ裏面】



- ・ブランド規格（平成 29 年 8 月改定）

産地	県内の漁港で水揚げされたものであること
大きさ	甲羅幅 140mm 以上
重さ	おおむね 1,000g 以上
その他	すべての脚がついていること、堅ガニ(身入りがよいもの)であること

(3) 県産ベニズワイガニの強みを活かした県内外への情報発信

- ・県内PR ポスター等の掲示（駅、飲食店、水産物直販施設等）、食の王国フェスタ等のイベントでのPRなど
- ・県外PR 「富山のさかな」PRイベント、高志の紅ガニフェア、「富山のさかな」おもてなしフェアなど
- ・ホームページを活用した情報発信（専用ページの開設等）



富山米新品種「富富富」に関する取組みについて

1 「富富富」戦略推進会議の開催（委員長：伊藤県農業協同組合中央会長）

【第1回】6月29日（金）13:00～14:30

（内容）H30年産の生産対策、H30年度の販売・PR計画 等

【第2回】8月29日（水）10:45～12:00

（内容）H30年産の生育状況と収穫見込み、販売開始日や今後のPR計画 等

【第3回】11月1日（木）14:00～15:30

（内容）H30年産の収量と品質、H31年産の生産者募集、今後のPR計画 等

＜今後の開催予定＞第4回（2月中旬）



〔第2回戦略推進会議〕

2 生産対策

（1）平成30年産「富富富」の作付及び品質概況

- ・作付面積：518ha（469経営体）
- ・収穫量：約2,600t
- ・刈取時期：9月5～19日頃
- ・品質：1等米比率99.1%（9月末現在）



〔現地研修会〕

（2）平成30年産の高品質・良食味生産に向けた対策

- ①地域協議会の設置による指導体制の整備
 - ・栽培研修会の開催支援やほ場看板の設置
- ②生育状況の確認による栽培管理指導の実施
 - ・県内23か所の実証ほを設置
 - ・現地巡回指導、技術情報の発信（8回）
- ③高品質生産（漏生稲や異茎株の除去等）の支援
- ④JAに対する食味計の導入支援



〔H30年産米栽培ほ場〕

（3）作付拡大に向けた取組み

- ①粘質土壌地帯での全量基肥栽培の技術確立実証等による栽培技術確立
- ②JAの共同乾燥調製施設等の受入れ促進 など

（4）今後の計画

- ①31年度に向け「富富富」の栽培技術のブラッシュアップ
 - ・収量や品質・食味等の調査・分析
 - ・栽培方法や生育経過を踏まえ、栽培マニュアルの改訂
 - ・研修会等による栽培マニュアル（改訂版）の周知
- ②良食味・高品質生産を確保する生産者登録制の実施

3 PR・販売対策

(1) 富山米新品種「富富富」CM・パッケージ発表会の開催

【日時／場所】7月18日(水) 14:30～15:30／ベクトルスタジオ

【出席者】マスコミ、米卸関係者等 約100名



(2) 県外観光客等を対象としたパックご飯の配布(8/13～8月下旬) [CM・パッケージ発表会]

- ①富山県ホテル・旅館生活衛生同業組合と連携し、宿泊者に配布
- ②ととやま・富山空港で商品購入者(1,000円以上)を対象に配布

(3) デビュー関連イベントの実施

①平成30年産「富富富」先行販売会

【日時／場所】10月8日(月・祝) 13:00～／県民会館

【内容】「富富富」の販売(2kg袋×500袋)

- ・台風25号の影響で開催を1日延期したにもかかわらず、開場した12時30分には長蛇の列がみられた。
- ・「富富富」500袋は、販売開始後30分で完売。



[先行販売会]

②「富富富」デビュー記念イベント

【日時／場所】10月11日(木) 9:30～ 日本橋三越本店

【内容】知事記者会見、知事等によるトップセールス、「富富富」販売会

※アンテナショップ(日本橋、有楽町)でも連携し、フェアを開催

- ・イベント期間中(10/11～10/16)の販売状況は、三越、日本橋とやま館ともに、計画以上の販売数量。



[デビュー記念イベント]

(4) その他、食に関するイベントへのブース出展

<県内>

- ・越中とやま食の王国フェスタ～秋の陣～

(10月27日(土)、28日(日)／テクノホール)

- ・「富富富」(2kg袋、2合パック)の販売、とやま食の王国大使ふふふによるステージでの「富富富」のPR。
- ・「富富富」を使用したおにぎりや富山湾鮭、ます寿しも大好評で完売。

- ・富山マラソン(10月28日(日))

- ・ねんりんピック(11月3日(土)～6日(火))

- ・ブースでのPR及び参加選手等の昼食弁当に「富富富」を使用。

<首都圏>

- ・ほおぼる幸せ!富山米フェア(10月13日(土)／有楽町駅前広場)

- ・Sante! in Futakotamagawa 2018(10月21日(日)／二子玉川ライズ)

- ・家族連れが多数来場。
- ・「富富富」2kg袋50袋は、早い時間帯に完売。

- ・dancyu 読者パーティー(10月29日(月)／ANAインターコンチネンタルホテル)

- ・読者(食味や品質等を重視する消費者)150名が参加。
- ・「富富富」おにぎり(白米と、とろろ昆布まぶし)を試食していただいたところ、大人気。(イベント時間の1時間半で精米2kg分のご飯を完食)



[dancyu 読者パーティー]

- ・ジャパンハーヴェスト(11月3日(土)、4日(日)／丸の内仲通り・御幸通り)

(5) 飲食店との連携によるPR

- ①料理人中村孝明氏の店舗での「富富富」メニューの提供（11月中旬～）
- ②日本橋・銀座エリアの商業施設と連携した「富富富」グルメフェスタを実施（10月11日（木）～31日（水）／日本橋・銀座エリア）

・コレド室町、日本橋三井タワー、銀座ベルビア館等の飲食店15店舗で、「富富富」を使用した特別メニュー（計25種類）を提供。

(6) 交通広告、雑誌広告やテレビ番組等によるPR

- ①トランヴェール（北陸新幹線車内誌）9月号への広告掲載（9月1日～30日）
- ②東京駅でのPR（中央通路デジタルシートや新幹線乗換え口等へのポスター掲出）
期間：10月22日～11月4日（中央通路デジタルシートは10月28日まで）
- ③飲食系雑誌dancyu11月号への広告掲載（10月6日発売）
- ④テレビ番組でのPR

- ・「柴田理恵のよってかれ!富山観光開発事業団」(KNB55分)

・全国25局程度で放映
・首都圏ローカル5局（埼玉、千葉、神奈川、栃木、群馬）で5分程度に編集した別篇を放映（11月）

- ・「もしもツアーズ」(フジテレビ全国放送25分)



〔東京駅中央通路デジタルシート〕

(7) その他

- ・2月22日を中心に、県内小中学校の給食で「富富富」を提供予定（調整中）
- ・「美味しい富山米の店」等での「富富富」の使用（HPで紹介）

富山市：五万石本店、天米 県庁前店、ホテルよし原
高岡市：雨晴温泉 磯はなび
氷見市：割烹 かみしま、割烹 秀月
射水市：太閤山カントリークラブレストラン

【参考】県内外の「富富富」販売店舗数（予定含む）

○県内200店舗（百貨店2、主要スーパー150、JA直売所等50）

○県外3,150店舗

首都圏 2,100店舗（イオン、東急ストア、セイユー、イトーヨーカドー等）

中京圏 850店舗（ユニー、イオン等）

関西圏 200店舗（サンプラザ、京阪ザストア等）



「オールとやま」県産食材商談会 開催結果

●趣 旨

富山県産食材に関心のある首都圏や県内の料理人等と県内農林漁業者等との意見交換などを行う商談会を開催し、四季折々の県産食材をPRし、「オールとやま」で品目や産地をリレーしながら、周年、飲食店等に県産食材を提供できるようにすることで、県内農林漁業者等の生産意欲の向上と生産拡大を図ることを目的とします。

- 日 時 平成 30 年 7 月 31 日 (火) 10 : 30 ~ 15 : 30
- 場 所 オークスカナルパークホテル富山 2 階 鳳凰の間
- 参加者 出展者 県内の農林水産物関連事業者等
(地場産品の食材・加工品等) 47 事業者
- バイヤー ホテル・レストラン・食品販売者等 52 事業者
(当日参加 5 事業者含む)
- 首都圏、関東地区 16 事業者
- 東海・関西地区 2 事業者
- 富山県内 34 事業者
- その他 富山県等 6 名

●内容と結果

- ミニセミナー 富山県の野菜や果樹について説明
説明 富山県農業技術課 広域普及指導センター 副係長 高田健一郎 氏
富山県の水産物について説明
説明 富山県漁業協同組合連合会 業務部 販売課 課長 安吉孝士 氏
- 旬の県産食材を使ったメニュー提案・調理のデモンストレーション
説明 渡辺 徹 氏 (オークスカナルパークホテル富山 総料理長)
- 面談・商談 47 事業者のバイヤーが各ブースで商談

面談数等 282 件
 内 当日 食材採用延べ件数 48 件 (26 事業者)
 (トマト、干柿、卵、キャベツ、キクラゲ、ドライフルーツ、
 麩、魚醤、フリルレタス、白ネギ、鮮魚、サクラマス等)
 今後話しを進めていきたい案件 91 件 (40 事業者)

料理人・バイヤーの感想

- ・価格や送料の面が検討材料である。
- ・年間を通じて安定した価格で提供してもらえると助かる。
- ・現金取引のみという点は改善が必要。
- ・鮮魚は衛生面が気になる。

出展者の感想

- ・サービス、商品開発の参考になった。
- ・催事の依頼を受けたので、検討していきたい。
- ・試供品をお渡しして、話しを進めていきたい。





富山県産品購入ポイント制度

資料 No. 10

県では、“県民ぐるみで県産品を大きく育てる地産地消運動”の推進活動の一環として、県民の皆様へ県産品を優先的に選択していただけるよう、県産品に付いているシールなどを集めて応募していただく「富山県産品購入ポイント制度」を実施しています。

なお、昨年度から、より多くの県民の皆様に参加いただけるように、実施期間を9月上旬～11月中旬の約2ヶ月間に拡大しています。

1. 制度の内容

対象品目	富山県産の米、野菜、果実、肉、魚、卵、加工食品、花・球根、農家レストラン及び美味しい富山米の店メニュー	
対象シール 県産品表示マーク プライスラベル	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消シンボルマーク ・県内産畜産物のロゴマーク ・ふるさと認証食品の認証マーク ・富山県食品産業協会の認証商品ロゴマーク ・富山県花卉球根農業協同組合のロゴマーク ・エコファーマーマーク 	<p>県産(または生産者)表示と価格が記載されているプライスラベル</p>
	県産品を表示するシールやラベルであれば、上記以外も対象	
実施店舗	食品スーパーマーケット、百貨店、青果店、加工食品製造直売所等、農産物直売所、農家レストラン、美味しい富山米の店【H29 新規】等	
実施期間	9月8日(土)～11月11日(日)【65日間】	
応募方法	対象となるシールを10枚一口として応募用紙に貼付(マークとラベルの併用可) ①消費者は店舗備え付けの応募箱に投函、店舗等がまとめて企業・団体等を通して県の事務局へ送付 ②消費者が直接、県の事務局へ郵送	
賞品還元	抽選で1,000名様に「とやまの特産品」をプレゼント	

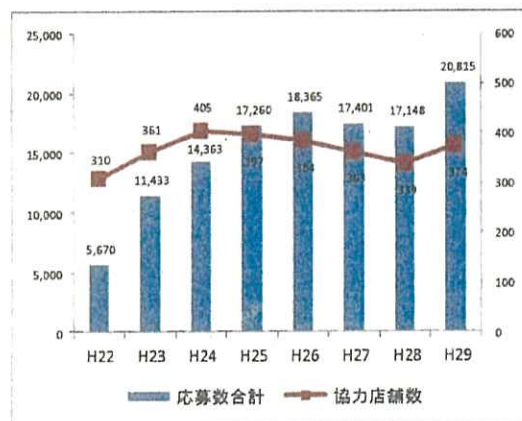
2. 広報活動

協力店：店舗チラシ、ポスターで制度の告知、応募チラシ・応募箱の掲示・配置
行政：広報(ラジオ、新聞)での告知、市町村広報誌等

3. 過去の実績

H21	実施店舗数 104、	応募数 195
H22	実施店舗数 310、	応募数 5,670
H23	実施店舗数 361、	応募数 11,433
H24	実施店舗数 405、	応募数 14,363
H25	実施店舗数 399	応募数 17,260
H26	実施店舗数 384	応募数 18,365
H27	実施店舗数 363	応募数 17,401
H28	実施店舗数 339	応募数 17,148
H29	実施店舗数 374	応募数 20,815

前年比 121.4%





富山県産品購入ポイント制度 今年も実施中!

※富山県ではとやま県産品の消費・利用拡大、地産地消を推進しています。

富山県産の農林水産物に
付いているシール等を
10枚集めて応募しよう!



とやまの特産品が 総計1000名様^{に当たります!}

2018.9/8(土)▶11/11(日)

1 **富富富** 2kg **100名**

3 **新米コシヒカリ** 5kg **150名**

提供/ JA全農とやま

2 **高志の紅ガニ** **30名**

提供/ 紅スワイガニ・ブランド化推進協議会

4 **昆布じめ** セット **100名**

提供/ アルビス樹

6 **とやま県産肉** **計100名**

いずれか1品
とやま牛 50名
とやまポーク 50名

提供/ 富山県養豚組合連合会「とやま肉牛」振興協議会

5 **農水産加工品** **計100名**

いずれか1品

提供/ ㈱四十物昆布(石川製麺㈱) ㈱田中商店、葎富食品工業㈱、日の出屋製菓産業㈱

7 **干柿** サイズ12個入 **80名**

提供/ ㈱大阪屋ショップ

9 **エコファーマー等** 県産野菜詰合せ **40名**

提供/ 富山県野菜協会

8 **JA直売所お楽しみ品** **70名**

提供/ JA富山中央会

10 **「富のおもちかえり」** **30名**

いずれか3品
お酒のとも・ご飯のとも

提供/ ㈱ラックス

11 **もっと切餅** 4袋 **30名**

提供/ 三幸㈱、サカタニ農産

12 **かぶら寿司** セット **20名**

提供/ 生活協同組合 CO-OPとやま

13 **チューリップ** 水栽培セット **20名**

提供/ 富山県花卉球根農業協同組合

- 14 **黒豆茶** 24本入 **各10名**
提供/ JAみな種あいさい広場
- 15 **ふんわりごはん** パック 24個入
提供/ ㈱JAライブ富山
- 16 **ブルーベリー茶** 提供/ Café風楽里
- 17 **かんだ米** コシヒカリ新米真空パック1kg
提供/ ㈱カンダファーム
- 18 **きな粉とポン菓子** セット 提供/ ゆめの森味工房
- 19 **お食事券** 提供/ 農園kitchen moriy
- 20 **お食事券** 提供/ 氷見牛専門店たなか
- 21 **お食事券** 提供/ 農工房長者㈱
- 22 **米粉ラーメン** 提供/ ㈱ドリームファーム
- 23 **紫いもコロケ** 提供/ 天の川倶楽部南条
- 24 **富山県産コシヒカリ100%**のかすてらいす 提供/ フェルヴェール

25 **お楽しみ品** **計20名**

提供/ 氷見農業特産品推進協議会おらっちゃんのお店、道の駅となみ野の郷、農家レストラン大門、(南)耕、(農)松永うの花農園、ふれあい青空市山田の案山子、若林青空市、(新)新生マートオレンジタウン、あおばの里ほほえみ館、音川ふれあい市、梅檀野地場産野菜直売所、(農)食彩あさひ、道の駅庄川、夢の平コスモス荘旬菜直売所、JAいみず野直売所 村の駅菜っちゃん

※写真はイメージです。
※商品は予告なく変更する場合があります。



詳しくは裏面をご覧ください。

みんなで応援! とやまの農林水産物 「富山県産品購入ポイント制度」 とやまの美味しいものを食べて応援しよう 応募用紙

氏名	性別	男・女	年齢	歳
希望番号	住所	電話番号 () -		

地産地消「とやまの旬」 応援団員募集中!

地産地消の趣旨に賛同し、とやまの農林水産物を応援していただける方を募集しています。登録者へは地産地消に関するイベントや県産農林水産物等に関する情報を提供します。ぜひ登録を!
詳しくは、**越中とやま食の王国ホームページ** (<http://www.shoku-toyama.jp/>) を!

地産地消「とやまの旬」応援団に
登録している・登録する

※左欄で「登録する」を選ばれた方は、本欄にメールアドレスを記載願います。

@

1	2	3	4	5
貼付け場所です。シールが大きい場合、 欄外に貼付けてもかまいません。				
6	7	8	9	10

応募方法等は次のとおりです

対象となるシール等

富山県産の米、野菜、果実、肉、魚、卵、加工食品、花・球根に付いている「地産地消シール」や県下農林水産団体の「マーク」、県内産を示す「プライ斯拉ベル」が対象です。



▲地産地消シール



▲県内畜産物のロゴマーク(牛乳、豚肉、牛肉など)



▲▼県内産を示すプライ斯拉ベル▲



▲ふるさと認証食品のEマーク



▲県食品産産協会の認証マーク



ゆめ・チューリップ・とやま
▲富山県花卉球根組合のマーク



富山県産 第○○号
▲エコファーマーマーク

商品名 ○○○○○○
産地名 富山県産・市町村産
生産者 ○ ○ ○ ○
¥150 (税込)
○○○○○直売所

※県産品を表示するシールやラベルであれば、表記以外も対象となります。
なお、協力店舗によって、ラベルの貼付けが異なる場合があります。

応募の手続き

上の応募用紙にシール等10枚を貼付け、氏名・性別・年齢・住所・電話番号と希望商品の番号をご記入の上、各店舗に設置してある専用応募箱に投函してください。

※郵送も可能です。宛先は下記の事務局へお願いします。

応募期間

平成30年9月8日(土)～11月11日(日) ※郵送の場合、11月14日(木)までの消印有効

当選発表

当選発表については商品の発送をもってかえさせていただきます。

事務局

(郵送・お問合せ先)

〒930-8501 (住所不要) 富山県農林水産企画課「富山県産品購入ポイント制度」係
TEL.076-444-3368

個人情報の取扱いについて

お客様が記載された内容については個人情報保護法に基づき、富山県農林水産企画課が「富山県産品購入ポイント制度」の実施や「地産地消「とやまの旬」応援団登録」以外の目的に使用しません。



地産地消「とやまの旬」応援団 提案活動を支援！

「とやまの旬」応援団の皆さんが提案する、生産者や地域住民と連携し、地域に根ざした地産地消活動に支援しています。

事業の内容

地産地消の実践を通じた本県農林水産業の振興や県産品購買気運の向上、地域の活性化などに
つながる活動

- ・ 支援対象者：地産地消「とやまの旬」応援団に登録している企業や団体・グループ
- ・ 支援内容：1事業につき10万円を限度に補助

平成30年度実施一覧

	企業・団体名	事業内容
1	コミュニティカフェ・カフェゴッコ 富山市今泉西部町	富山市八尾桐谷地域の特産品の蕎麦を使った料理教室を行い、消費拡大を目指す。 ①保存が効く蕎麦味噌をつくり、蕎麦がきを試食する料理教室を実施 ②教室の宣伝はチラシを作成し、市民活動組織のネットワークを活用した県内外への発信やマスコミへの働きかけを効果的に実施
2	NPO法人山田の案山子 富山市山田小島	山田の特産品である「牛岳高原りんご」の消費拡大を目指すため、 ①中心市街地で、秋冬野菜の出張朝市を実施(2回) ②「牛岳高原りんごの試食」やジュース絞り機を使った「丸絞りジュースの試飲」を実施 ③会場にあるレストランで、「アップルコンポート」を作ってもらい、その試食を実施 ④販売促進のためのチラシ作成し、マスコミ等への働きかけを効果的に実施
3	れんげの会 小矢部市宇治新	れんげの会の会員それぞれの経営品目(米、野菜、花や加工品)の試食や販売を行い、消費者に対して、県産農産物や当該会のPRを実施。 ①イベント(試食及び販売)の実施(9月) ②農産物や加工品を紹介するパンフレットを作成し、イベント時に配布
4	株式会社 石田組 南砺市砂子谷	①タケノコ収穫と採れたてタケノコ料理体験(6月) ②銀杏収穫及び加工体験交流(10~11月) を通して、里山の地域資源の再発見、伝承、地域活性化につなげる。
5	農園 kitchen moriy 高岡市今泉	高岡の地場野菜のトマトの地産地消を進めるため、 ①食育イベント(野菜ソムリエの講義、野菜のスィーツbuffetの試食)により、参加者に地場野菜に対する興味を持ってもらう ②視察研修(農場、加工場、カフェ、ネット販売)を実施し、6次産業化の取組み(新商品開発)の参考とする
6	おいしいやさい部 入善町青木	①「女子好みの野菜品種」の栽培(8~2月)・・・女性が気軽に、楽しく、美しく料理に使えるような新たな野菜品種を選定し、栽培に挑戦する。(野菜は、②マルシェで販売し、③パンフに食べ方を紹介する。) ②「おいしい! 楽しい! マルシェ」の開催(10~11月)・・・主に若手女性、担い手農家に呼びかけ、自慢の生産物をPR販売。来客者が楽しめるような企画も考え、農業者及び農産物の理解を深めてもらう。 ③「私達の選抜野菜 10種のおいしい食べ方」パンフ作成(~2月)・・・生産している野菜等の料理方法をまとめたパンフを作成。女性視点の情報(栄養成分や購入場所等)を取り入れ、地元野菜の認知度を高め、消費拡大につなげる。
7	わたげMyはうす 南砺市野尻	南砺市内の美味しい食材を使った加工体験会を開催し、地元食材や手作りの良さを実感してもらう。また、生産者との交流も促し、栽培や加工(料理方法)に対する理解を深める。 【加工体験】・・・参加者各自が栽培したものを使う。 ①梅干し作り体験(6月)・・・加工技術の普及と伝承を図り、梅生産農家と交流する。 ②干し芋作り体験(12月)・・・自宅でできる自然乾燥の干し芋作りに挑戦し、芋の品種の違いを学ぶ。 ③キムチ作り体験(2月)・・・地元の材料を使ったオリジナルキムチ作りを体験する。
8	中野八起会 砺波市中野	地域内の子供や高齢者を含めた老若男女が、地産地消の交流を深め、地域のつながりを育むため、 ①農作物の栽培(大豆、そば、かぶ、人参)・交流を実施【地産活動】 ②地元栽培農産物を使った加工体験・交流を実施【地消活動】 とうふづくり体験(7月)、かぶらずし体験(11月)、そば打ち体験(12月)
9	卯月の会 砺波市大門	砺波地方に伝わる伝統的郷土料理作り体験を通して、子供から高齢者までの老若男女に地元食材を使った手軽な料理方法を楽しみながら学んでもらう。郷土料理は、昔ながらの伝統を使えること、今風にアレンジしたものを紹介することで、日本の味、郷土の味を再確認してもらう。 【伝承料理体験会】・・・よごし、ゆべし、ずいき白和え、おすわい等 ①昔ながら伝統の味と現代風アレンジ料理の実習(7月、大学生や地域住民を対象) ②男性にも手軽に作れる郷土料理の実習(10月、男性を中心とした地域住民を対象) ③小学生親子で学ぶ郷土料理の実習(12月、小学校の児童親子を対象)
10	くろべぎ農生活講座運営組織協議会 黒部市三日市	消費者に喜ばれ、選ばれるように、黒部産の野菜「黒部ベジタブル」の栽培技術の向上を図り、消費者へのPRによる消費拡大を進めるため、 ①「黒部ベジタブル 5種」の栽培研修会と圃場研修(7~12月)・・・秋冬野菜を中心に5種類を「黒部ベジタブル」と称し、高品質なものを栽培するため実施。技術の向上を図る。 ②「黒部ベジタブル 品評会 & 試食会」の開催(10~11月)・・・①栽培研修を行った「黒部ベジタブル」を中心に野菜の品評会、料理の展示及び試食会を開催し、消費者に地産地消を呼びかける。 ③「黒部ベジタブルの料理紹介とパンフ作成」(10~2月)・・・「黒部ベジタブル」を使ったレシピを作成し、インショップコーナーで配布する。

活動状況(中間報告)

●NPO法人山田の案山子(富山市山田小島)

【消費者との交流】

・出張朝市を行い、秋冬野菜の販売と共に「牛岳高原りんごを使った丸絞りジュースやコンポート」の試飲試食販売を実施



▲りんごの丸絞りジュース実演販売



▲朝市で秋冬野菜の販売

平成30年度 地産地消「とやまの旬」応援団提案活動支援事業



牛岳高原りんご

りんごの丸絞り
ジュースと
出張朝市

牛岳高原でりんごを作っているのはご存知ですか?山田の朝市では、この高原りんごを使って特製の絞り機!で作るりんごの丸絞りジュースが大人気です!!

今回、より広く「高原りんご」をみなさんに知っていただく為に出張朝市を行い、秋冬野菜の販売と共に「高原りんごの丸絞りジュースやコンポート」の試飲試食販売を行います。山田の果物や野菜の美味しさをこの機会にぜひ味わってみてください!!

朝市開催日

平成30年

1回目 10月18日(木) AM10:00~

2回目 11月22日(木) AM10:00~

場所

とやま健康生きがいセンター1Fホール

主催 特定非営利活動法人 山田の案山子

(問い合わせ) ☎076-457-2333 富山市山田小島2600

※とやま健康生きがいセンターは、地産地消「とやまの旬」応援団提案活動支援事業を応援しています。

会場案内

